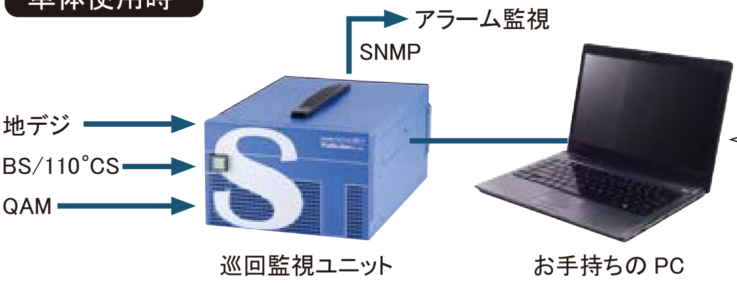
巡回監視ユニット ST-1

1台で地デジ/BS/110°CS/QAMの複数サービスを巡回し、簡易的にTS監視とRFの監視を行います。単体でも使用可能ですが、「統合集約監視システム」と連携することで、更に便利な機能が使えるようになります。

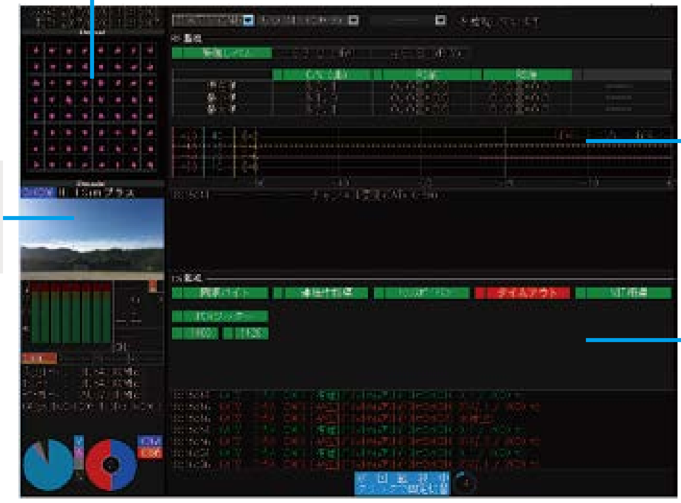
単体使用時



- Web画面から各種操作が可能
- B-CAS/C-CASデスクランブル機能で映像音声の確認が可能
- 巡回→固定への切り替えも可能
- 固定監視時は内蔵HDDへの同録も可能

コンスタレーションを映像の側に配置することで、映像の乱れとコンスタレーションの関係を把握しやすくします。

B-CAS/C-CASの2つのデスクランブルが可能です。



監視中のCH、受信レベル、C/N、BERを表示します。

映像や音声など視聴に関連する項目に絞り、監視を行います。もちろん、**パケット解析やセクション解析を行うことも可能**です。

▲画面イメージ

固定監視に切り替えると、内蔵のHDDへの同録（ループレコーディング）も可能です。
また、Videoモードに切り替えることも可能で、デスクランブルされた映像を大きく表示することも可能です。

弊社「統合監視システム」と「巡回監視ユニット ST-1」を連携させることで、次のことが可能になります。

複数拠点の監視が可能になります。

→ 視覚的にも把握しやすい MAP 表示に対応し、 クリックすることで該当の ST−1 の画面を表示します。
画面レイアウトはお客様に合わせて提案いたします。

EPG 連動による放送休止時のアラームの自動マスク機能が可能になります。

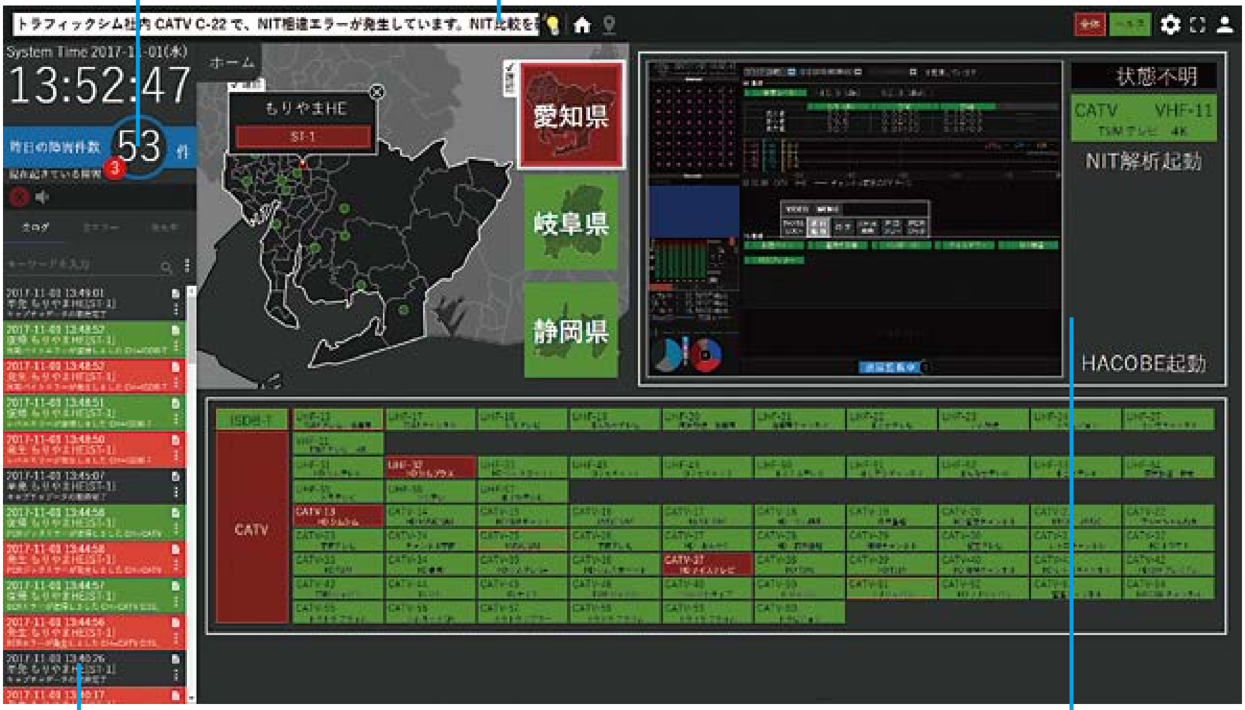
→ アラーム過多になり、 本当のアラームを見落とすのを予防します。

NITの付け替を行ってる場合、付け替えたNITに誤りがないかNITの比較監視を行います。

→ 責任分界点における監視が可能です。

昨日のアラーム機能を可視化することにより、 監視への意識付けをうながします。

アラーム発生時にヘルプ表示をすることで、 ユーザの一次対応など一定の品質を保つことに役立ちます。



▲画面イメージ

監視ログは拠点まとめて表示 / 絞り込み表示が可能です。

監視拠点をグラフィカルに表示可能です。
お手持ちの PC のブラウザから確認することが可能です。